

置農祭2023 閉祭式 講評

校長室だより No4
令和5年10月21日

開祭式に始まり、全校企画、実行委員会企画、ステージ発表、一般公開と大変盛り上がった置農祭だったと思います。雨の予想だった2日目も午前中は雨が降らず、一般公開では予想を大きく超える来場者がありました。

工夫を凝らしたクラス展示、日頃の活動の成果をまとめた部活動や委員会展示もよく研究されていました。模擬店をはじめ、縁日等もクラスでよく考え、工夫したものでした。模擬店は風でテントの固定が大変でしたが、おいしく調理ができており、よく頑張ったと思います。

演劇部の公演は完成度が高く素晴らしいものでした。来週の県大会での活躍が今から楽しみです。多くの人に見ていただいた吹奏楽の演奏も、エネルギッシュで楽しく聞かせていただきました。農産物の販売も行列ができ、売り切れが続出するほどの大繁盛でした。

生徒一人一人の置農祭への関わりが、今年の置農祭を作り上げたと思います。テーマにある通り大いに笑い、大いに盛り上がり、クラスや学年、部活動などの団結力も大いに高まったことと思います。

さて、本日まで様々な準備に当たってくれた生徒の皆さん、そして運営の役員の皆さん、先生方、大変ありがとうございました。コロナ禍明けの制限のない初めての置農祭でしたが、やり遂げたという達成感が十分感じ取れた素晴らしい置農祭だったと思います。置農祭は今日で終わりますが、この経験を今後の学校生活の様々な場面に活かしてくれることを期待し、講評といたします。皆さんお疲れさまでした。